

今、求められている国語の力が身につく！

☆☆☆国語の千カラ☆☆☆

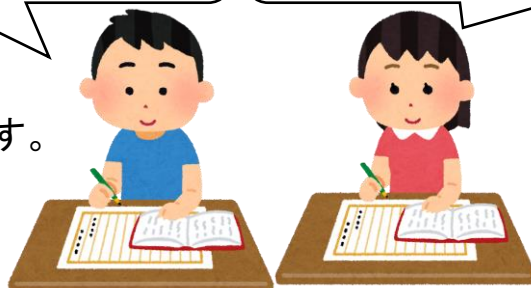
2

- | | | | | | |
|---|------|--------|---|--------|--------|
| 1 | 知識5 | (月 日) | 6 | 思考・表現1 | (月 日) |
| 2 | 活用7 | (月 日) | 7 | 思考・表現2 | (月 日) |
| 3 | 活用8 | (月 日) | 8 | 思考・表現3 | (月 日) |
| 4 | 活用9 | (月 日) | | | |
| 5 | 活用10 | (月 日) | | | |

なぜ、この答えになるのだろう。

自分の答えとの違いを考えてみよう。

- ※ 計画を立てて取り組みましょう。
 - ※ 解答例 (p. 19～) が付いています。
- やり直しまでがんばりましょう！



年	組	番	名前	
---	---	---	----	--

年	組	番	名前
---	---	---	----

8 次の1から6までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の——線部のカタカナを漢字に直し、楷書^{楷書}でていねいに書きなさい。

- 1 紙をひもでタバ^{タバ}ねる。
- 2 舞台のマク^{マク}が上がる。
- 3 先制点をユル^{ユル}す。

二 次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでていねいに書きなさい。

- 1 模型^{模型}を作る。
- 2 池の水が凍^凍る。
- 3 技を磨^磨く。

三 次のアからキの文では、()の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ1つ選びなさい。

ア 立場の異なる両者の主張は(1 臨機応変 2 終始一貫 3 先手必勝 4 共存共栄)して変わらず、最後まで結論が出なかった。

イ 魚の中には群れを作って泳ぐ(1 習性 2 修正 3 集成 4 終成)をもつものがある。

ウ 先生が私たちに大切なことを(1 申し上げた 2 申した 3 お言いした 4 おっしゃった)。

エ 彼は(1 水気 2 せき 3 紙 4 くう)を切ったように話し始めた。

オ 意見の折り合いを(1 たてる 2 かける 3 つける 4 なする)。

カ わたしが健康になったのは、(1 ひとえに 2 ほのかに 3 いちずに 4 むやみに)母のおかげです。

キ 姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。(1 もしくは 2 いわば 3 要するに 4 一方)、妹は一人で本を読むことが好きだ。

四 次の各問いに答えなさい。

1 次の言葉の意味として最も適切なものを、あとの1から4までの中から1つ選びなさい。

心を打たれる

- 1 遠慮する。
- 2 感動する。
- 3 一つのこと集中する。
- 4 あれこれと心配する。

五 書写の時間に、行書で「野花」という文字を書いた松田さんは、【作品】をよりよくするためにグループで助言し合っています。この【作品】への助言として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

【作品】



- ①の部分は筆脈を意識して、次の画へのつながりが分かるように書きましょう。
- ④の部分は文字の全体の大きさに気を付けて、偏へんよりも小さく書きましょう。
- ⑦の部分は点画を省略せずに、楷書かじゆで書くときの筆順どおりに横画を最初に書きましょう。
- ②の部分は左下に向けて払い、次の字につながるよう書きましょう。

六 次は、中国の「韓非子」という本にある話【A】と、その現代語訳【B】です。これらを読んで、あこの問いに答えなさい。

【A】

楚人そじんに、盾と矛とをひさぐ者あり。これをほめていはく、「わが盾の堅きこと、よくとほすものなし。」と。またその矛をほめていはく、「わが矛の利きこと、物においてとほさざるなし。」と。ある人いはく、「子の矛をもつて、子の盾をとほさばいかん。」と。その人、こたふることあたはざりき。

【B】

楚の国の人で、盾と矛とを売る者がいた。その盾をほめて言うには、「わたしの盾の堅いことといたら、突き通せるものはない。」と。また、その矛をほめて言うには、「わたしの矛の鋭いことといたら、どんなものでも突き通さないことはない。」と。ある人が言うには、「あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか。」と。その人は答えることができなかつた。

- 1 線部「いはく」の意味を【B】の中から抜き出しなさい。
- 2 線部「とほさざるなし」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。
- 3 【A】の話から、つじつまが合わないという意味の「矛盾」という言葉が生まれました。この話の中で矛盾していることとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 楚の国の人には、矛の鋭さと盾の堅さという長所を示しているのに、ある人は矛と盾の短所について質問したこと。
- 2 楚の国の人には、自分が持ってきた盾の堅さをほめているのに、ある人は楚の国の人を持っている矛の鋭さをほめたこと。
- 3 楚の国の人には、矛と盾という異なる使用目的をもった道具を売るために、それぞれの材料について説明したこと。
- 4 楚の国の人には、自分が売っている盾と矛について、何も突き通させない盾とどのようなものも突き通せる矛だと言ったこと。

8

一

1
ね
る

二

2

三

3
す

二

1

二

2

三

3

三

ア
①
②
③
④

イ
①
②
③
④

ウ
①
②
③
④

エ
①
②
③
④

オ
①
②
③
④

カ
①
②
③
④

キ
①
②
③
④

四

1
①
②
③
④

2

[Blank box]

五

①
②
③
④

六

1

2

とほざるなし

3

①
②
③
④

年	組	番	名前
---	---	---	----

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「宅配便が届いた段ボール箱は、天地無用だから、逆さまにしても大丈夫だ」
この言い方が気にならないあなた、受け取った荷物は大丈夫でしょうか？

「天地無用」という言葉の意味について「国語に関する世論調査」で尋ねたところ、約3割の人が「上下を気にしないでよい」という意味だと回答しました。

では、「天地無用」とは本来どのような意味か、辞書で調べてみましょう。

『広辞苑 第6版』(平成20年・岩波書店)

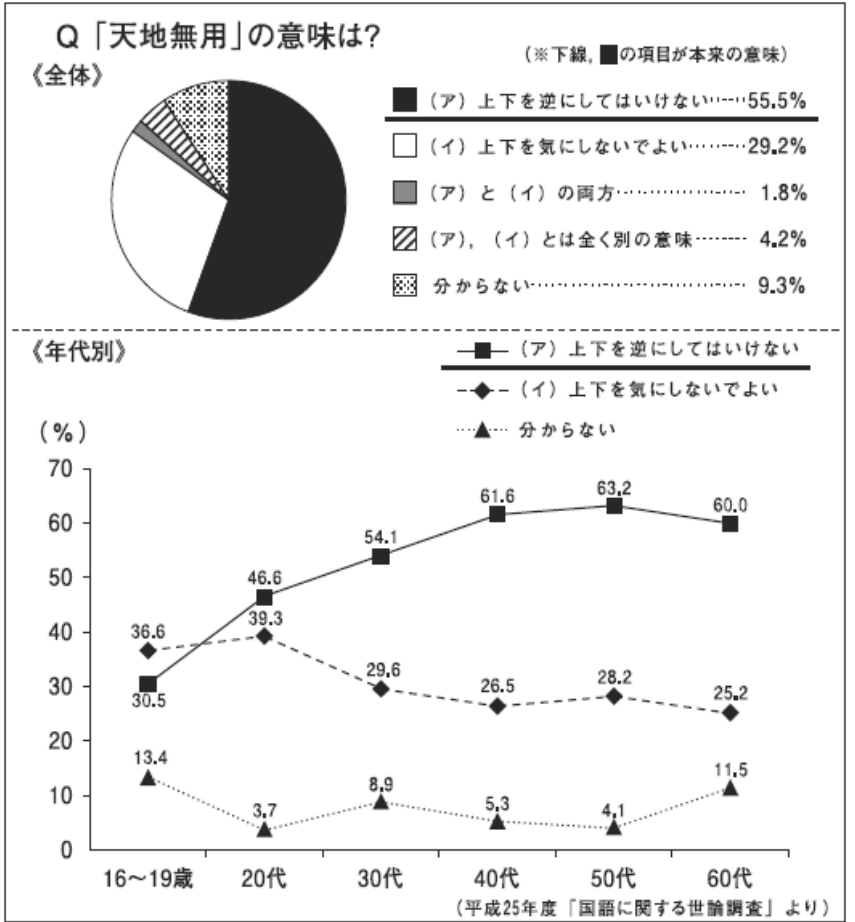
てんちーむよう 【天地無用】 運送する荷物の外装などに記す語で、この荷物を取り扱うのに、上下を逆にしてはいけないという意。

『日本国語大辞典 第2版』(平成12～14年・小学館)

てんちーむよう 【天地無用】 荷物、貨物などの包装の外側に記す語で、破損の恐れがあるため上下をさかさまにして取り扱っては
いけないという意味の注意。

「天地無用」は、「荷物の上下を逆にしてはいけない」という意味です。段ボール箱の荷物などに、赤地に白抜きで「天地無用」と書かれたシールが貼られていることがあります。しかし、それだけでは意味が分からない人が少なからずいるからでしょうか、最近では、記号やイラストを用いて視覚に訴えたり、「UP」^①、「この面を上」などとといった情報を書き足したりして、より分かりやすく示そうとする例が多くなっています。

平成25年度の「国語に関する世論調査」で、「天地無用の荷物」という例文を挙げて、その意味を尋ねました。結果は次のとおりです。



全体では、本来の意味である(ア)

「上下を逆にしてはいけない」を選んだ人の割合(55・5%)が、本来の意味ではない(イ)「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合(29・2%)を26ポイント上回っています。また、「分からない」と回答した人が1割弱となっています。

年齢別に見ると、16～19歳を除く全ての年代で(ア)の割合が高いものの、最も低い60代でも25・2%の人が(イ)を選んでおり、どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えていることが読み取れます。

「天地無用」は、本来、誤解があつてはならない注意喚起の言葉ですから、見過ごせない結果であるといえるかもしれません。

では、「天地無用」を「上下を気にしないでよい」という意味で受け取る人が多いのには、どのような理由があるのでしょうか。その前提として、「無用」の意味を調べてみましょう。

『岩波国語辞典 第7版新版』（平成22年・岩波書店）

むよう【無用】 ①役に立たないこと。いらぬこと。「心配御―」 ②してはならないこと。「立入り―」「天地―」（上下を逆にしてはならないという注意書） ③用事が無いこと。「―の者、入るべからず」

②の例にあるように「天地無用」の「無用」は「してはならないこと」という意味です。

かつて、アニメ番組「ドラえもん」の主題歌の中に「落書き無用」という言葉がありました。これは「落書きをしてはならない」という意味で、「天地無用」も同じ使い方です。

このように「無用」の用法は、かつては注意書きなどによく見られました。しかし、現在は「落書き禁止」「立入禁止たていりきんし」など、「禁止」という言葉を用いたり、もっと丁寧に「……しないでください」「……は御遠慮ください」などと書かれたりするように変わります。そのために、「無用」という言葉に「してはならないこと」という意味での使い方があること自体、分かりにくくなっているのかもしれない。

また、「無用」の意味が「してはならないこと」であると分かっていたとしても、「天地してはならない」では、意味が通じません。「天地無用」は、「天地を逆にする」と無用」のように、傍線部に当たる内容が省略された言い方になっています。字面じめんだけを見ても、そのことは分かりませんから、本来の意味で読み取るのは難しいでしょう。

「落書き」や「立ち入り」とは違って、「天地」という言葉自体には「してはならない」というような内容がありません。「逆にする」という省略部分に気づかなければ、「無用」の意味は「役に立たないこと。いらぬこと」や「用事が無いこと」に取られかねないので、その結果、「天地はいらぬ」⇨上下は気にしないでいい、「天地に用事はない」⇨天地は関係ないなどと解釈されることになりやすと考えられます。

「天地無用」という言葉は、いつも荷物を取り扱っている人や、意味を知っている人にはごく当たり前のものかもしれませんが、初めて目にした場合には解釈が難しい表現です。「国語に関する世論調査」^④でも、反対の意味だと考えている人と意味が分らないという人を合わせると4割近いという結果でした。

トラブルを避けるため、今後は分かりやすく言い換えたり、表示を工夫したりするなどの配慮が必要かもしれません。

（文化庁国語課「文化庁国語課の勘違いしやすい日本語」による。）

【資料】の《年代別》の「―◆―（イ）上下を気にしないでよい」のグラフから分かることについて、文章中ではどのように説明されていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ――線部①「本来の意味ではない（イ）」「上下を気にしないでよい」を選んだ人の割合（29・2%）」
- 2 ――線部②「『分らない』と回答した人が1割弱」
- 3 ――線部③「どの年代でも4人に1人以上の割合で、本来とは逆の意味で考えている」
- 4 ――線部④「反対の意味だと考えている人と意味が分らないという人を合わせると4割近い」



二 この文章では、複数の辞書から「天地無用」の意味が引用されていますが、その効果について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 複数の辞書の記述を取り上げることで、「天地無用」の本来の意味について納得できるようにしている。
- 2 発行年の異なる辞書の記述を並べることで、「天地無用」の本来の意味の移り変わりが分かるようにしている。
- 3 複数の辞書の記述を比較することで、「天地無用」の本来の意味が複数あることに着目できるようにしている。
- 4 一つの辞書の記述に別の辞書の記述を補うことで、「天地無用」の本来の意味のもととなった出来事が分かるようにしている。

三 この文章を読んで、「天地無用」という言葉を見たときに誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書きなさい。
なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

年
組
番
名前


2

山川さんは、総合的な学習の時間に、ロボットについて発表しています。次は、山川さんが発表のために作成した【資料】、【発表の直前の場面】と、それに続く【発表・質問の場面の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(【発表の直前の場面】の……の中には、頭の中で考えていることを表します。)


ロボットに期待すること

1 人とコミュニケーションをとるロボットの例

人型のロボット



動物型のロボット



2 ロボットができることの例

- 人の言葉や行動を認識して反応する。
 - ・ 簡単な日常会話をする。
 - ・ ニュースや天気予報を伝える。
- 人と触れ合うことで学習する。
 - ・ 一人一人の顔を覚える。
 - ・ 接する相手に合わせて動く。

3 これからの社会とロボット

- ・ 65歳以上の人口の割合は、2060年には日本の総人口の約4割になる見込み。
- ・ 総務省のアンケート調査では、60代以上の54.5%が、人とコミュニケーションをとるロボットを「利用したい」、「利用を検討してもよい」と回答。

(総務省ウェブサイトによる。)

【発表の直前の場面】

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか詳しく聞きたいな。



南さん


【発表・質問の場面の一部】

これから「ロボットに期待すること」について発表します。こちらの資料の①を見てください。私は、人とコミュニケーションをとることができる人型や動物型のロボットについて調べました。皆さんはこのようなロボットを見たことがありますか。それぞれのロボットによってできることは少しずつ違います。②にまとめましたが、特に私が注目したのは、人と触れ合うことで、一人一人の顔を覚えたり、接する相手に合わせて動いたりするロボットがあることです。ロボットも人間と同じように学習するということに驚きました。

私は、このような人とコミュニケーションをとることができるロボットを祖母に贈りたくになりました。遠くに住んでいてなかなか会うことができない一人暮らしの祖母の生活に役立つと考えたからです。


ここまでで何か質問はありますか。

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をするのか知りたいのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。



南さん 大野さん

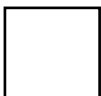
山川さんは、一人暮らしのおばさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。



山川さん

一 【発表・質問の場面の「部」】の南さんと大野さんの質問の意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問し、大野さんは山川さんの説明の誤りを指摘するために質問している。
- 2 南さんは事前にもっていた疑問を解決するために質問し、大野さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。
- 3 南さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問し、大野さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問している。
- 4 南さんは山川さんの説明の矛盾を指摘するために質問し、大野さんは山川さんの発表の要点を確かめるために質問している。



二 南さんと大野さんに続いて、あなたが山川さんに質問するとしたら、どのような質問をしますか。実際に話すように一つ書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

三 山川さんは、最後にロボットに期待することを述べて発表をまとめます。山川さんの話の進め方として最も適切なもの1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 これまで話してきた内容や聞き手とのやりとりを踏まえた上で、【資料】の中の③の情報を取り上げながら発表を*
- 2 聞き手とのやりとりを通して生まれた新たな考えをもとに、【資料】の中の①と②の情報を使って発表をまとめ*
- 3 これまで話してきた内容や聞き手とのやりとりは踏まえずに、【資料】の中の③の情報を使って発表をまとめ*
- 4 聞き手とのやりとりの内容を受けて話の方向を転換し、【資料】の中の③の情報に触れずに発表をまとめ*

年	組	番	名前

3 次の文章は、古典を現代語に訳したものです。これを読んで、あこの問いに答えなさい。

夢を買った話

むかし、備中の国(今の岡山県)にひとりの郡司(さむらい)がいた。その子に、ひきのまきひと(まきひと)というものがいた。

若かったとき、気になる夢をみて、夢うらないの女のもとへみてもらいに出かけた。べつになんともなく、そのあと世間話をしていると、がやがやと大ぜいの人がやってくるようすである。

見ると、この備中の国司の長男(むすこ)殿のおいでで、一七、八歳ほどの男、性質はわからないけれど、見た目にはなかなかの美男である。お供を四、五人連れて、

「ここが夢うらないの女の家か」

「さようでございます」

などと言いながら入ってきた。で、まきひとは隣りの部屋にかくれ、穴(ほ)なんぞをくじつてのぞいていると、

「こんな夢をみたのだが、どういうことか」

と言つて、国司の長男殿は、夢の内容をこまごまと語つてきかせた。女は答えた。

「まことにすばらしい夢でございますよ。あなたさまは、かならず大臣にまでおのほりになります。なんとまあ、けっこうな夢をご覧になりましたことぞ。

そうそう。けつしてけつして、この夢を人にお話しになりませぬように」

聞いて長男殿はたいそううれしそうであつた。着ていた上の衣をぬいで女にあたえ、そのまま、いそいそと帰つていった。

やがて、隣りの部屋からまきひとは出てきた。そして女に言った。

「夢というのは、横取りできるそうなの。どうだな、あの人の夢を、わたしに取らせてくれまいか。いやいや。ま、考えてごらん。

国司というものは、四年たてば都へ帰つてゆくお人。けれど、わたしはこの備中の人間。だから、いつまでもここにいる。そのうえ、わたしは郡司の子だから、わたしを大事にしておいたら、おまえさんにもつこうがいいのではないかな」

女はしばらく考えてうなずいた。

「よろしゅうございます。おっしゃるままにいたしましょう。

それじゃ、さつそく、こうなさいませ。

先ほどのおかたとまったく同じようにして、この部屋へ入つておいでなされ。それから、先ほど語られた夢を、語られたとおりすこしもまちがえないで、あなたがもう一度お語りなさいませ」

まきひとは大喜びで、あの長男殿がしたのとまったく同じように部屋に入り、まったく同じように夢を語つた。すると女も、先ほど言ったのとまったく同じことを答えたのである。

まきひとはわくわくして、着ていた上の衣をぬいで女にあたえ、そのまま、いそいそと帰つていった。(なんとまあ、ここまで同じことをしているよ、この人。)

その後、まきひとはひたすら勉強したので、ぐんぐんと学問のある人に成長した。その評判は朝廷にも聞こえ、試験してみたところ、評判どおりだったものである。そこで遣唐使に任命して、

「唐(たう)の文物をよくよく習つてくるように」

と送り出された。

長いあいだ唐にとどまり、さまざまの学問や技術を習い覚えて帰国したので、天皇はまきひとをすっかり信任し、しだいに官職も

あげて、ついには大臣にまで任命された。

考えてみると、夢を取るといふことは、なんと恐ろしいことではないか。夢を取られたあの備中守の子は、官職もつかない身分で終わってしまった。まきひとに夢を取られていなかったら、この人がそ大臣にまでなっていたらろうに。

うっかり夢を人に話すものではない、と、むかしから言い伝えているのは、そう、ここのだ。

(川端喜明「宇治拾遺ものがたり」による)

(注1) 部司＝関司のもとにあつて、その国の郡を治める者、その国々の兼族が任ぜられた。

(注2) 長男殿のおいでで＝長男殿がいらっしゃつて。

(注3) 穴なんぞをくじつて＝穴をあけて。

1 この話に登場する人物についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 夢うらないの女は、ひきのまきひとの夢を不吉な夢だと予言した。
- 2 夢うらないの女は、ひきのまきひとに頼まれて彼の要求に応じた。
- 3 国司の長男殿は、ひきのまきひとを自分のライバルだと思ひ込んでいた。
- 4 国司の長男殿は、ひきのまきひとが自分の夢を取つたことを知っていた。

2 「線部」を考えてみると、夢を取るといふことは、なんと恐ろしいことではないか。」とありますが、これは誰の言葉ですか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ひきのまきひと
- 2 夢うらないの女
- 3 国司の長男殿
- 4 この話の語り手

3 この話のあらすじを学校の友達に説明しようと思います。あなたならどのよう説明しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話の展開を取り上げて書くこと。

条件2 七十字以上、百二十字以内で書くこと。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

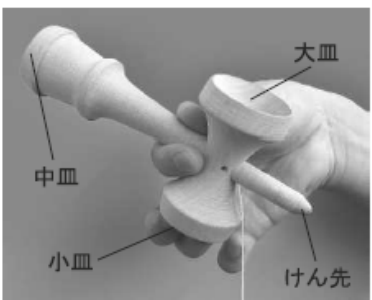
年	組	番	名前
---	---	---	----

2 石井さんは、けん玉についてスピーチをします。次は、石井さんがスピーチをするために読んだ【本の一部】、リハーサルで実際に話した【スピーチ】、リハーサル後に友達からもらった【意見1】、【意見2】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(【スピーチ】の は、その箇所です。【実演】を行うことを表します。【実演】は三回とも同じ動作を行います。)

【本の一部】

「大皿」という技について説明します。まず、けん玉を下の図のように持ちます。次に、ひざを曲げながら、けん先を下にして手を少し下げます。続いて、ひざを伸ばしながら、下げた手を戻す勢いで玉をまっすぐに引き上げます。引き上げた玉が落ち始める寸前は、玉が一瞬静止した状態になるので、玉を捉えやすくなります。このときに玉の真下に素早く皿を持ってきて、ひざを曲げながら受け止めます。ただひざを曲げればよいということではありません。玉の動きに合わせてひざを曲げるのです。ひざの動きは「大皿」に限らず、けん玉の多くの技を行う際に重要な動きです。特に、皿で玉を受け止めるときには、皿と玉がぶつかるときの衝撃をやわらげる効果があるので。

【図】



【スピーチ】

今日は、けん玉の「大皿」という技を取り上げて、技を上手に決めるコツについて説明します。「大皿」というのは、けん玉の一番大きな皿に玉を乗せる技です。「大皿」はこのように持っています。まずはどのような技なのか見てください。【実演】一回目

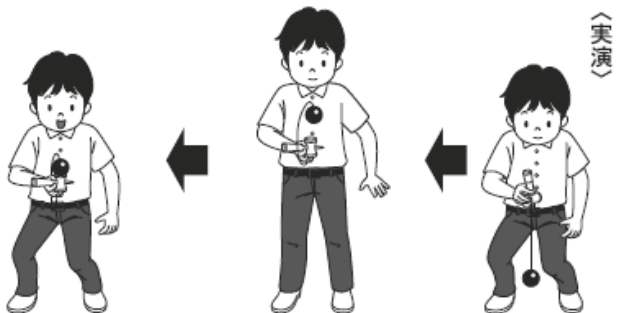
「大皿」のコツは二つあります。

一つは、引き上げた玉が落ち始める寸前に、玉の真下に素早く皿を持つてくることです。玉の動きが一瞬静止した状態になるこのタイミングだと玉を捉えやすいので、成功する確率が高くなります。では、やってみます。【実演】二回目 少し難しいかもしれませんが、何度か繰り返し返してやっていると、徐々にタイミングがつかめるようになります。

もう一つのコツはひざをうまく動かすことです。では、ひざの動きに注意して見てください。

【実演】三回目 始めにひざを曲げます。そしてひざを伸ばしながら玉をまっすぐに引き上げます。玉を受け止めるときは、ひざの動きも重要です。玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かすとよいです。

コツが分かったでしょうか。皆さんも、ぜひ、この二つのことに気を付けながら、「大皿」という技をやってみてください。



【意見1】

三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのかが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとよいと思います。



【意見2】

「今私がやったようにひざを動かすとよいです」というところは、どのようにひざを動かすのかが分かりづらかったです。それに、なぜひざを動かすとよいのかについても説明してほしいです。



一 石井さんが〈実演〉二回目と〈実演〉三回目を行った意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 技が成功する実演と失敗する実演の動きの違いに気付いてもらうため。
- 2 それぞれのコツの説明を実演と照らし合わせて理解してもらうため。
- 3 説明した内容に含まれていないコツを実演によって知ってもらうため。
- 4 易しい技と難しい技を実演することで興味をもってもらうため。

二 【意見1】はどのようなことを伝えようとしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 実演を見るときポイントを直前に示す方が、実演の効果が高くなること。
- 2 実演を見るときポイントを実演後に何度も示す方が、実演の効果が高くなること。
- 3 実演を見るときポイントを聞き手に予想させる方が、実演の効果が高くなること。
- 4 実演を見るときポイントを示さない方が、実演の効果が高くなること。

三 石井さんは、【意見2】を受けて、「スピーチ」の——線部「玉を受け止めるときは、今私がやったようにひざを動かす」といいます。」を聞き手に分かりやすいように直すことにしました。あなたならどのように直しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【本の一部】を参考にして、【意見2】にある「どのようにひざを動かすのか」と「なぜひざを動かす」といのか」が分かるように書くこと。

条件2 「玉を受け止めるときは、」に続けて、四十字以上、八十字以内で書くこと（解答用紙に書かれている書き出しの字数を含みます。）。

玉を受け止めるときは、

40

80

年	組	番	名前
---	---	---	----

③ T東中学校では、総合的な学習の時間に、自分たちが住む地域の魅力を伝える地域紹介リーフレットを作るようになった。次は、リーフレットを書くために、T町に長年住んでいる山下さんにインタビューをしている様子である。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。

【山下さんへのインタビュー】

柴田： 本日はよろしくお願ひします。
 山下： お願ひします。

柴田： さっそくですが、山下さんはこの町に住んで何年になりましたか。
 山下： そうねえ、生まれたときからずっとだから、もう六十年近く住んでいることになるわね。

柴田： とても長くお住まいなんですね。T東中学校のご出身ですか。
 山下： いいえ、昔はT町にはT東中学校とT西中学校という二つの学校があって、私はT西中学校に通っていました。

柴田： そうなんですね、初めて知りました。
 山下： T西中学校が廃校になってからもう二十年近く経つから、知らないのも無理もないわね。

柴田： T町は地域行事が多いですが、山下さんが一番好きな行事は何ですか。
 山下： どの行事も好きですけど、特に好きなのは「ふるさと祭り」と「立志の集い」かしら。

柴田： そうなんです。まずはふるさと祭りからお聞きしたいと思います。ふるさと祭りは毎年千人以上が踊り手として参加するお祭りだと聞いていますが、

山下： 小学生からお年寄りまで、幅広い年代の人たちが、笑顔で大通りを踊りながら歩いている姿を見られるところね。あの光景を見ると、ああ、この町に住んでいてよかったなと思うわね。

柴田： 山下さんも踊りに参加されているんですか。
 山下： もちろん。毎年練習から楽しく参加しています。

柴田： 僕はこの町に住んで日が浅く、踊りに参加したことがありません。ぜひ今年は参加してみたいと思います。次に「立志の集い」についてお聞きしたいのですが、これはどのようなものなのでしょうか。
 山下： 「立志の集い」は、昔の成人にあたる元服元服にちなんで、数えの十五歳を祝う行事のことよ。T町の「立志の集い」は、地域の方々が大勢来られて、盛大に行われるの。

柴田： 大勢というと、生徒の家族以外も来られるのですか。
 山下： そうね。家族だけでなく、地域に住むみんなでお祝いしようという行事なの。若い人たちからお年寄りまでみんなでごちそうを作って、中学生たちに振る舞うのよ。私も中学生のときにそんなふうにお祝いしてもらって、とても嬉しかったのを覚えているわ。

柴田： 歴史ある行事なんですね。お話をうかがっていて、山下さんがT町のどのような部分に魅力を感じているか、分かったような気がします。

一 【山下さんへのインタビュー】中のにふさわしい質問を考えて、二十字以内で書け。

二 山下さんが感じているこの町の魅力を伝えるための効果的な見出しとして、最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア 変わりゆくT町 ～今と過去をつなぐ～
- イ 受け継がれる地域の絆きずな ～世代を超えて今なお続く～
- ウ 立志式のもつ意味 ～私たちを見守る人たち～
- エ 新しさ発見 ～あなたの知らないT町～

年	組	番	名前
---	---	---	----

4 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

「わたし」は進学塾に通っていないながら、志望校を受験しなかった。中学校に入学して間もない頃、そんな「わたし」に、両親はいらだちや愚痴をぶつけることがあった。なにより「わたし」が自分自身にいらだちをおぼえていた。そんなとき、入院中の祖父の具合がよくないという知らせが入り、一家で病院へ向かうことになった。

病室のじいちゃんは、点滴の細い管につながれていた。

父さんと母さんは、担当の先生の話を聞くために病室を出ていった。じいちゃんは意識が混乱しているのか、わたしのことがわからなかった。

「あんたんとこの裏の川、今年はようけあゆが泳いどりますなあ。」と、手ぶりをしながら話しかけてくる。

じいちゃんの手は、川底に光る石を拾うように、きれいな思い出だけをすくっているのかもしれない。わたしはただ、うん、うん、とうなずいていた。

「あんた、知ってはりましたかなあ。」

わたしは首をかしげて見せる。

「うちの孫むすめがね、県大会ではばとびの一等賞をもらたんですわ。えらいもんでっしゃろ。」

わたしのことだ。県大会で入賞したのは本当だけけど、一位なんかじゃない。三位だったんだ。

じいちゃんたら、自分が死ぬかもしれないってときにまで、わたしを一等賞だなんて。本当にじいちゃんはいいかげんなことばかりを言う。わたしは下を向いた。真下を向けば、まばたき一つでなみだははらえる。やっと顔を上げると、「あんた」になりすまして、わたしは言った。

父さんと母さんは、県大会にはいつも慣れた靴でいいと言った。でもわたしは、もっと軽い靴が欲しかった。

そしたらじいちゃんがないしよで靴を買ってくれた。自分がいいと思うことをやれって。

それがいちばんのおまじないだった。

わたしはとんだ。軽々と空へ。

(安東みきえ『そこまでとべたら』から)

※ ようけ：たくさん
※ バッシュ：バスケットボール・シューズのこと。

一 文章中の——線部「これだけはうそじゃないよ。」について、わたしのどのような気持ちがあるか。その記号を書け。最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア じいちゃんを好きだという気持ち
- イ 県大会で優勝したかったという気持ち
- ウ また陸上部に入りたいたいという気持ち
- エ 受験のことを後悔していない気持ち

「その孫むすめっていう人が、わたしに教えてくれたよ。おじいさんのこと、好きだった。」

じいちゃんは何れもに笑った。

じいちゃん、うそじゃないよ。わたしの何がうそでも、これだけはうそじゃないよ。

その夜は、父さんが病室に、母さんとわたしが病院のひかえ室に泊まった。

空の色が明るくなり始めたころ、わたしはじいちゃんの病室をのぞいた。じいちゃんは静かに眠っている。その一方で、父さんもいすにもたれて眠っている。

じいちゃんの横で丸まっている父さん、なんだか安心して見えるように見える。

ドアをそつと開めた。

わたしには何もできない。でも、何かしなくては行かない。ロビーのいすをきちんと直した。落ちていたゴミを拾って歩いた。後ろ向きに歩いたら、じいちゃんは元気になるって、もし思ったら、もう絶対そうするしかなかった。

一階まで下りて、庭に出た。

明け方の空気はひんやりと冷たい。あゆが泳ぐって川みたいに見える。広い庭はうす暗く、大きな木のすみっこにはまだ夜がうすくまっています。

わたしは靴の先で足元に線を引いた。目標は桜の木。

そこまでとべたら、じいちゃんは治る。空がどんどん明るくなる。

夜がどんどんにげっていく。

わたしは息を大きく吸い込んで、助走に入った。

二 次の会話文は、この文章を初めて読んだ後、意見を交流している時の様子である。このやりとりを読み、あとの各問いに答えよ。

先生… この部分を読んで、疑問に思ったことはなかったかな。

田中… 後半、庭に出た主人公が急に桜の木がけてとぼうとするじやないですか。あれ、なぜですか。

佐藤… 急にじやないよ。その前にもゴミ拾いとかしてるじやない。

田中… ああ、テスト勉強しているときに、ゴミ箱にゴミを投げて、一発で入ったら明日はいけるっていうあれと一緒にだね。

佐藤… あなたのそれとは切実さが違うでしょ。でも、まあ、そういうこと。

田中… じゃあさ、この「靴の先で足元に線を引いた」っていうところ、この行動にはどんな意味があるのかな。

佐藤… そりゃ、なんかこう、強い願いみたいなものが行動に表れたんじやないかな。そして、「わたし」の願いと行動が、不吉なものや不安を追い払うイメージにつながってるんじゃない。

鈴木… 強い願いが表れてるっていうのは分かる。けど、強い願いみたいなものって何だよ。

佐藤… それは…

先生… …よし、それじゃあ、物語の表現を手がかりにどんな強い願いかを考えて読んでみようか。

1 線部に「物語の表現」とあるが、本文中の「夜がうすくまってくる」「夜がどんどん逃げていく」に見られる表現方法を何としようか。次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア 直喩
- イ 反復法
- ウ 倒置法
- エ 擬人法

2 「わたし」が、桜の木までとぼうとする行動には、どのような願いが込められているのか。会話文の内容を参考に「願い」という言葉を用いながら、「わたし」の行動を説明せよ。

4			
—			—
2		1	

年	組	番	名前
---	---	---	----

⑤ 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(□数字は段落番号を表している。)

□ 1個の細胞から出発して、りっぱなおとなに生長する植物の性質を利用して、とてもおもしろいことができる。

□ まずジャガイモの細胞とトマトの細胞を用意する。植物の細胞はいちばん外側がかたい壁でおおわれているので、それをこわす酵素——生物の体をつくっている物質が分解するのを助けるはたらきをもっているタンパク質——をはたらかせて壁をとってしまおう。

□ こうしてはだかにすると、細胞はみんなまあるくなるんだ。そこで、はだかにしたトマトの細胞とジャガイモの細胞をいっしょにガラス容器の中に入れて、そこにポリエチレングリコールという薬品を入れる。すると、ふしぎやふしぎ。トマトの細胞とジャガイモの細胞がなかよくくっついて、しかもだんだんそのさかいがなくなり、いっしょになってしまおう。そして、1個の細胞のようになってしまうんだ。これを、少しむずかしい言葉だけれど、細胞融合という。

□ こんなことが普段起きたらこまるね。野菜サラダをつくったとき、トマトもキュウリもレタスもみんなまじってしまったら、おかしい味になってしまうものね。ふつうは、ちがう種類の植物の細胞が一体になってしまおうなどというのではないけれど、ちよつとくふうするとそういうことができる。

□ こうしてトマトとジャガイモが一体になった細胞1個を、ニンジンのときとおなじように育てたら、やっぱり芽がでてちゃんと育ったんだ。トマトとジャガイモ(ポテト)からできたのでポマトって名前がつけられた。この植物、上にはトマトがまっ赤にうれて、地下にはジャガイモがどっさりとはいかなくなかったけれど、それぞれ小さな実はなかった。

□ ポテトとトマトの細胞融合でつくったポマトは、たしかに実はなかったけれど、これでトマトとジャガイモの両方を収穫できるわけだ。

一 空らん □ A、□ B に当てはまる接続詞の組み合わせとして、最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

- ア A そして B だから
- イ A だから B ところが
- ウ A とろろで B しかし
- エ A また B つまり

二 —— 線部「これでトマトとジャガイモの両方を収穫できるわけではない」とあるが、それはなぜか。「トマトとジャガイモの両方に」という書き出しに続けてその理由を書け。

は。植物は、太陽の光のエネルギーを利用して自分で栄養分をつくれるのだが、一日に当たる光の量は決まっている。

□ A せっせとトマトのほうへ養分をおくれば、ジャガイモのほうは栄養不足。ジャガイモがかわいそうと、そちらへサービスすればこんどはトマトが育たないだろう。けつきよく、ちゅうとはんばになってしまおう。二兎を追うものは「兎をも得ず」という言葉を知っているね。あれもこれもやっぱりむりなんだね。勉強もピアノもサッカーも、というのは、なかなかむずかしいものね。

□ 八 ただ、ポマトはこんなことには役立っただろうと考えられている。トマトといえば、あたたかいところが好きだ。

□ 九 もし、寒さに強いトマトや暑くてもよく育つジャガイモがあったら便利だと思わないかい。冬でも温室なしでトマトが育てられる。でも、トマトのなまはどれも寒さに強い性質をもっていないんだ。そこでジャガイモからその性質をいれてやりたいのだけれど、さんねんながらトマトとジャガイモはかけ合わせができない。

□ 十 B、ポマトとトマトならかけ合わせられるんだ。だいぶトマトに近くなっているからね。そこでまず、ジャガイモとトマトの細胞融合で寒さに強いポマトをつくり、つぎにこのポマトとトマトをかけ合わせればめでたく、きみみたいな寒さに負けない強いトマトができるはずだ。さんねんながらまだ成果はでていないけれど、「シベリアで育つトマト」を考えてみたいね。

※ ～～～線部「ニンジンのときとおなじように」
〔本文は原文のとおり〕
〔中村桂子「12歳の生命誌 あそび」から〕

前章にて筆者が取り上げている細胞培養の話のこと。ニンジンの細胞1個を栄養分のたっぷり入った寒天の中で育てたところ、その細胞が増殖し、薬品処理によって芽が出た。この実験の成果は果物のイチゴやランの花の培養などに生かされている。

三 この文章を学級のみんで読んだ後に「新しい作物をつくる科学技術」は必要か、不必要かについて、学級新聞にのせることになったため、次のような学級アンケートをとることになった。あなたならこのアンケートに対してどのように答えるか。次の条件に従ってあなたの考えを書け。

〔学級アンケート〕

「新しい作物をつくる科学技術は必要か、不必要か」

「必要か、不必要か」どちらかの立場で、あなたの意見を聞かせてください。

--	--	--

【条件】

- ① 二段落構成とすること。
- ② 一段落目に、あなたの立場を明らかにすること。
- ③ 二段落目に、一段落目の立場の理由を明らかにすること。

※ なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり、行間に書き加えたりしてもよい。

5								
三						二		一
							トマトとジャガイモの両方に、	

国語のチカラ「知識5」

8

1 束（ねる）

2 幕

3 許（す）

二 1 もけい

2 こお（る）

3 みが（く）

三 ア 2 イ 1

ウ 4

エ 2

オ 3

カ 1 キ 4

四 1 2

2 （例）私は、スポーツ選手の努力する姿に心を打たれた。

五 1

六 1 （例）言うには

2 とおさざるなし

3 4

国語のチカラ「活用7」

1

1 3

二 1

三

（例）現在は、「してはならないこと」という意味を表す際に、「無用」以外の言葉を使うことが多い。「多く意味がある」という言葉に「以外」は「なにか」という意味がある。また、「天地無用」は「逆にする」とも入れない。容省略された言い方になって、それに気が付かない。と「無用」を他の意味で捉えかねないから。

国語の千カラ〔活用8〕

2

二 1
一 2

(例) 山川さんは、人型と動物型のどちらのロボットをおばあさんに贈りたいと思ったのですか。

3 1

国語の千カラ〔活用9〕

3

二 4
一 2

(例) むかし、国司の長男殿が自分の夢を夢うらないの女にみてもらうと、大臣にまで出世する夢だと言われた。その夢を横取りしたひきのまきひとは、自分でもひたすら勉強して、本当に大臣になった。一方、国司の長男殿は官職もつかない身分で終わってしまった。

国語の千カラ〔活用10〕

2

二 1
一 2

す	撃	な	て	や	図
。	を	ら	ひ	っ	玉
	や	、	ぎ	た	を
	わ	皿	を	た	受
	ら	と	曲	た	け
	ら	玉	げ	に	止
	げ	が	る	、	め
	る	ぶ	と	玉	る
	効	つ	よ	の	と
	果	か	い	動	き
	が	る	で	き	は
	あ	と	す	に	、
	る	き	。	合	今
	か	の	な	わ	私
	ら	衝	ぜ	せ	が
	で				

国語のチカラ「思考・表現1」

3

一

(解答例Ⅰ)

どのような点がお好きですか。

(解答例Ⅱ)

どのようなところに魅力を感じますか。

二

イ

国語のチカラ「思考・表現2」

4

一

ア

二
1

エ

2

(解答例) 桜の木までとぶことができれば、じいちゃん
の病気もよくなるという願いもかなうと信じ、
難しい課題に挑戦しようとしている。

国語のチカラ「思考・表現3」

5

一

イ

二

(解答例Ⅰ) 十分に栄養分を送ることができないから。

(解答例Ⅱ) 均等に栄養分が行き渡るようにするのは
難しいから。

(解答例Ⅲ) 均等に栄養分が行き渡るようにするのは
難しいから。

三

(解答例Ⅰ) 私は、新たな作物をつくる科学技術は必
要ないと思う。

なぜなら、現在、栽培されている作物の多くは、長
い歴史の中で育てられてきた文化だと思っから、その
ままの姿で守り育てて行くべきものだと考える。

(解答例Ⅱ) 私は、新たな作物をつくる科学技術は必
要だと考える。

今、地球上では気候変動が激しくなり、これまでの
常識が通用しないくらい自然現象が起きている。
このままでは、現在の作物も育てられなくなると思
予想されるから、新たな品種が生まれ必要になると思
うからである。